2022

一般社団法人 京都府作業療法士会

認知症作業療法 活動報告（概要）

京都府作業療法士会では、社会貢献局に位置付けられる認知症支援推進部を中心として，府民に対する認知症支援を軸とした直接的社会貢献事業や，府内の作業療法士への教育研修事業等に取り組んでいる．

認知症カフェ支援に関する京都府からの受託事業（2018年度～2022年度現在）

2021年度は「本人の活動を重視する認知症カフェ開催支援事業（WITHコロナ）」として受託．
府下の認知症カフェにアドバイザーを派遣し，主に認知症カフェの開催に関わる支援を行った．
2021年度は5カ所のカフェ（運営会議）に，計21回，延べ44名を派遣．
対面，オンライン，ハイブリッド等，さまざまな形態に応じた．2022年度も同事業を受託．

京都府北部圏域における啓発事業および認知症を考える公開Webセミナー

2021年度は認知症当事者ご本人と家族，支援者による講演（対談）を公開Webセミナーとして実施．
参加者300名（当日123名，見逃し配信177名）．
2022年度は北部圏域において，認知症当事者ご本人の写真展や講演を，北部ブロック局を中心として府士会が一丸となり企画中．

認知症カフェの運営協力

受託事業に先行し，2013年より認知症カフェの運営に協力．
2021年度は受託事業とは別に7か所，計61回，延べ77名を派遣（オンライン含む）．2022年度も継続中．

各種連絡会・協議会への関与

当事者団体，医師会や行政，各支援機関などで構成されている団体へ派遣を継続中．

認知症支援に関する会員の教育

教育部が主催し，認知症支援推進部が協力する形（横断的連携）で，
認知症に関する会員向け研修会を実施．2022年度は基礎的内容の研修を年末に予定．

京都認知症カフェ連絡会への関与

世話人1名を派遣．セミナー等の運営協力も継続中．

埼玉県作業療法士会との連携

2019年度より埼玉×京都の公式連携開始，継続中．

(公社)認知症の人と家族の会との連携

世界アルツハイマーデーに開催されるライトアップイベント運営協力．2022年度も予定．

2021年度の振り返りと今後

コロナ禍による様々な制約が続く中でも，全国の士会の取り組みに鼓舞されながら上記の事業を進めてきた．事業がオンライン中心となったことで，士会員間の距離も生まれたが，事業に協力できる機会を見出せた会員もいた．2022年度も，コロナ禍の経験を認知症当事者や家族，府民へ還元できるよう取り組んでいきたいと考えている．